

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	海上保安学校総合実習棟	階数	地上s6F
建設地	京都府舞鶴市字長浜2001番地	構造	S造
用途地域	市街化区域、市街化調整区域、法2	平均居住人員	252人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	学校集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2019年8月15日
敷地面積	100,156 m <sup>2</sup>	作成者	服部太郎
建築面積	1,136 m <sup>2</sup>	確認日	2019年8月23日
延床面積	5,879 m <sup>2</sup>	確認者	服部太郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%

② 建築物の取組み: 88%

③ 上記+②以外の: 87%

④ 上記+: 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
沿岸部に建つ建物であるため、耐塩性の高い外装としている。 運用においては学生の男女比の変動に対して可変運用できる計画。 規律正しい端正な印象を与える建物として計画。		背面崖地に対して想定される土砂災害に耐える構造体を計画。 崖地に面して出入りを設けない計画。 豪雨に対して屋根排水処理が滞りなく排水されるよう、
<b>Q1 室内環境</b> 各居室には採光窓を確保。 界壁は床から上階スラブ下に達し、遮音性と防火性を確保。 ガラス窓にはLow-Eペアガラスを採用して断熱性を向	<b>Q2 サービス性能</b> 環境保護を目的としたFSC認証木材を学校・娯楽室の腰壁と学習室の床に適用。 2階窓はアルミ・木複合サッシを採用し木質化を図り、視覚的なやさしさを演出。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 整備範囲を最小限として、既存緑地(山)を存置。 艇の出し入れや重畳車両の通行に対応した舗装としている。 既存高層建物と色調・形状を合わせて、色彩を白色系の
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮の高断熱化を図っている。 居室には自然採光を確保。 高効率な設備機器を計画。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 森林保護を目的としたFSC認証木材を内装に適用。 リサイクル材を多用。 節水器具を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 既存建物群に調和した外観デザイン、材料適用。 構内緑地の保全。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される